

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(都島区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成27年度											
					めざす成果および戦略											
項目		成果指標と目標値			計画			自己評価								
					めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況 a: 順調 b: 順調でない	課題	今後の対応方向	
								A: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、戦略を見直す			A: 順調 B: 順調でない					
1	「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて															
	(1)	豊かなコミュニティの実現														
	㊦	人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	H29年度までに50%以上	[2-2(抜粋)] 人と人とが出会い、「つながり」「きずな」が生まれてくる状態。	身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合　29年度までに50%以上	イベント開催や、ICTを活用した区民センターの環境整備などにより、これまで地域との関わりが少なかった若い世代やマンション住民も参加する、人と人とがつながる機会を提供する。	ア	身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合　49%	-	A	A	b	・地域ごとに差はあるものの、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化は、人と人とのつながりの促進に影響が大きく、目標達成への課題は幅広い。 (区運営方針補足)	・まちづくりセンターと連携した、若い世代のまちづくり参加促進など、中長期の取組を継続する。 (区運営方針補足)	
	(2)	多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現														
	㊦	地域活動協議会を核とした自立した地域運営の支援	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[2-1] 多様な主体が参画する地域活動協議会等の地域団体により、自律的な地域運営が行われ、その活動に若い世代など新しい担い手が参加するとともに、自主財源としてコミュニティ・ビジネスなどの取組みが進捗している状態。	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合　29年度までに50%以上	・多様な主体が参画する、地域活動協議会の自律的な運営を支援する。 ・地域活動の担い手の拡大、情報発信などによる多様な主体のネットワークの拡充を支援する。 ・地域が自律的に活動するために、コミュニティ・ビジネスなどによる自主財源の確保を支援する。 ・中間支援組織と連携して、地域の担い手人材の発掘をおこない地域へと引き継ぐ。	ア	地域のみちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合　16%	19%	B	B	b	—	—	
	㊦	校区等地域を超えた多様な主体のネットワーク拡充の支援	校区等地域を超えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[2-1] 多様な主体が参画する地域活動協議会等の地域団体により、自律的な地域運営が行われ、その活動に若い世代など新しい担い手が参加するとともに、自主財源としてコミュニティ・ビジネスなどの取組みが進捗している状態。	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合　29年度までに50%以上	・多様な主体が参画する、地域活動協議会の自律的な運営を支援する。 ・地域活動の担い手の拡大、情報発信などによる多様な主体のネットワークの拡充を支援する。 ・地域が自律的に活動するために、コミュニティ・ビジネスなどによる自主財源の確保を支援する。 ・中間支援組織と連携して、地域の担い手人材の発掘をおこない地域へと引き継ぐ。	ア	地域のみちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合　16%	19%	B	B	b	—	—	
	(3)	地域資源の循環														
	㊦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	—	[2-1] 多様な主体が参画する地域活動協議会等の地域団体により、自律的な地域運営が行われ、その活動に若い世代など新しい担い手が参加するとともに、自主財源としてコミュニティ・ビジネスなどの取組みが進捗している状態。	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合　29年度までに50%以上	・多様な主体が参画する、地域活動協議会の自律的な運営を支援する。 ・地域活動の担い手の拡大、情報発信などによる多様な主体のネットワークの拡充を支援する。 ・地域が自律的に活動するために、コミュニティ・ビジネスなどによる自主財源の確保を支援する。 ・中間支援組織と連携して、地域の担い手人材の発掘をおこない地域へと引き継ぐ。	ア	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合16%	19%	B	B	b	—	—	
	㊦	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	H29年度までに1件以上	[2-1] 多様な主体が参画する地域活動協議会等の地域団体により、自律的な地域運営が行われ、その活動に若い世代など新しい担い手が参加するとともに、自主財源としてコミュニティ・ビジネスなどの取組みが進捗している状態。	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合　29年度までに50%以上	・多様な主体が参画する、地域活動協議会の自律的な運営を支援する。 ・地域活動の担い手の拡大、情報発信などによる多様な主体のネットワークの拡充を支援する。 ・地域が自律的に活動するために、コミュニティ・ビジネスなどによる自主財源の確保を支援する。 ・中間支援組織と連携して、地域の担い手人材の発掘をおこない地域へと引き継ぐ。	ア	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合16%	19%	B	B	b	—	—	
	㊦	本市事務事業の社会的ビジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数	H29年度までに1件以上	[2-1] 多様な主体が参画する地域活動協議会等の地域団体により、自律的な地域運営が行われ、その活動に若い世代など新しい担い手が参加するとともに、自主財源としてコミュニティ・ビジネスなどの取組みが進捗している状態。	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合　29年度までに50%以上	・多様な主体が参画する、地域活動協議会の自律的な運営を支援する。 ・地域活動の担い手の拡大、情報発信などによる多様な主体のネットワークの拡充を支援する。 ・地域が自律的に活動するために、コミュニティ・ビジネスなどによる自主財源の確保を支援する。 ・中間支援組織と連携して、地域の担い手人材の発掘をおこない地域へと引き継ぐ。	ア	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合16%	19%	B	B	b	—	—	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(都島区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成27年度											
				具体的取組											
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価							
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策		
									・目標達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ・目標未達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ・撤退基準未達成	○：有効 ×：有効でないため見直す					
1	「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて														
	(1)	豊かなコミュニティの実現													
	㊦	人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	H29年度までに50％以上	[2-2-1] 区民まつりを区民が企画、運営、広報など主体的に行うことで、人材育成、交流促進、コミュニティ育成につなげる。 ・区民まつり(9月)	参加団体アンケートで、地域のつながりが拡大したと感じた割合 60％以上	割合が40％未満であれば、事業再構築	26年度実績 ・区民まつり 参加者数：約32,000人、参画者数：2,313人	区民まつり(9月) 参加者数：約32,000人 出展65団体 ステージ出演：18グループ 区民まつり前夜祭(9月) 参加者数：約200人 ステージ出演：3グループ	参加団体アンケートで、地域のつながりが拡大したと感じた割合 94％	()	○	—	—	
	(2)	多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現													
	㊦	地域活動協議会を核とした自立した地域運営の支援	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合	H29年度までに50％以上	[2-1-1] 地域活動協議会が、地域課題の解決のために取り組む様々な分野の活動に対して、財政的支援を行うことで自律的な運営を促進する。 ・地域活動協議会補助金：9地域	地域活動協議会の構成員が、多様な参加者により、自律的な運営が進んでいると感じている割合 50％以上	割合が30％未満であれば、事業再構築	26年度実績 ・地域活動協議会補助金交付：9地域 ・区役所ホームページ等で活動内容、補助金情報の情報発信 ・区庁舎内に「地域活動協議会関連情報」の掲示板設置 ・各地域に対し自主財源確保の手法としてコミュニティ・ビジネス等の事例紹介	地域活動協議会補助金：9地域	地域活動協議会の構成員が、多様な参加者により、自律的な運営が進んでいると感じている割合 66％(都島区まちづくりセンターに関するアンケート87/131人)	()	○	—	—	
	㊦	校区等地域を超えた多様な主体のネットワーク拡充の支援	校区等地域を超えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合	H29年度までに50％以上	[2-1-2] 中間支援組織を活用して、活動内容の透明性を確保するとともに、地域課題の解決やつながりの拡充など、地域活動協議会の自律運営にかかる積極的支援を行う。 ・新たな担い手発掘につながる行事の企画・実施 3回以上 ・地域で開設したブログ・HP等を活用した活動内容(イベント案内・実施報告等)の発信：9地域	中間支援組織等による支援により、新たな担い手の参加が促進されたと感じる区民の割合 60％以上	割合が40％未満であれば、事業再構築	26年度実績 ・地域の共通ニーズに応じた各種講習会等の開催 ・新たな担い手拡大のためSNSを活用した情報発信支援 ・補助金の支出に関する透明性確保のための会計支援	新たな担い手発掘につながる行事の企画・実施 3回以上 世代間交流会「こどもとおとなのまちづくり」(10月) 企業交流会「つながろっ！ザ談会」(5月、8月) その他、桜宮高校ボランティア活動への支援(随時)など 地域で開設したブログ・HP等を活用した活動内容(イベント案内・実施報告等)の発信：7地域	中間支援組織等による支援により、新たな担い手の参加が促進されたと感じる区民 の割合 47％(都島区まちづくりセンターに関するアンケート59/126人)	()	○	・地域は新たな担い手の必要性は認識しているが、一方で、新しい取組の導入や、世代交代の難しさもあり、結果として、若い世代などの地域活動への参加や定着には至っていない。 ・ブログ・HP等を活用した情報発信には専門的スキルが必要と認識されている。	・新たな担い手を掘り起し、地域活動につなげやすい、小規模な行事を企画・実施する。 ・全地域での情報発信に向け、手軽さをアピールするなど、ブログ・HP等を活用した情報発信への理解を図る支援を行う。	
	(3)	地域資源の循環													
	㊦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	—	[2-1-2] 中間支援組織を活用して、活動内容の透明性を確保するとともに、地域課題の解決やつながりの拡充など、地域活動協議会の自律運営にかかる積極的支援を行う。 ・新たな担い手発掘につながる行事の企画・実施 3回以上 ・地域で開設したブログ・HP等を活用した活動内容(イベント案内・実施報告等)の発信：9地域	中間支援組織等による支援により、新たな担い手の参加が促進されたと感じる区民の割合 60％以上	割合が40％未満であれば、事業再構築	26年度実績 ・地域の共通ニーズに応じた各種講習会等の開催 ・新たな担い手拡大のためSNSを活用した情報発信支援 ・補助金の支出に関する透明性確保のための会計支援	新たな担い手発掘につながる行事の企画・実施 3回以上 世代間交流会「こどもとおとなのまちづくり」(10月) 企業交流会「つながろっ！ザ談会」(5月、8月) その他、桜宮高校ボランティア活動への支援(随時)など 地域で開設したブログ・HP等を活用した活動内容(イベント案内・実施報告等)の発信：7地域	中間支援組織等による支援により、新たな担い手の参加が促進されたと感じる区民 の割合 47％(都島区まちづくりセンターに関するアンケート59/126人)	()	○	・地域は新たな担い手の必要性は認識しているが、一方で、新しい取組の導入や、世代交代の難しさもあり、結果として、若い世代などの地域活動への参加や定着には至っていない。 ・ブログ・HP等を活用した情報発信には専門的スキルが必要と認識されている。	・新たな担い手を掘り起し、地域活動につなげやすい、小規模な行事を企画・実施する。 ・全地域での情報発信に向け、手軽さをアピールするなど、ブログ・HP等を活用した情報発信への理解を図る支援を行う。	
	㊦	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たにに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	H29年度までに1件以上	[2-1-2] 中間支援組織を活用して、活動内容の透明性を確保するとともに、地域課題の解決やつながりの拡充など、地域活動協議会の自律運営にかかる積極的支援を行う。 ・コミュニティ・ビジネスの事例紹介(区運営方針補足)	コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの起業への着手 1件以上	—	26年度実績 ・各地域に対し、自主財源確保の手法としてコミュニティ・ビジネスの事例を紹介(区運営方針補足)	全地域を対象にコミュニティ回収について情報提供を行い、要望のあった地域には個別で説明を行った。(区運営方針補足)	コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの起業への着手 0件	()	○	・コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネスが地域課題の解決につながるという認識向上に向けての取組が必要である。(区運営方針補足)	・中間支援組織と連携し、必要とする地域ごとに説明を行う。(区運営方針補足)	
	㊦	本市事務事業の社会的ビジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数	H29年度までに1件以上	[2-1-2] 中間支援組織を活用して、活動内容の透明性を確保するとともに、地域課題の解決やつながりの拡充など、地域活動協議会の自律運営にかかる積極的支援を行う。 ・コミュニティ・ビジネスの事例紹介(区運営方針補足)	コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの起業への着手 1件以上	—	26年度実績 ・各地域に対し、自主財源確保の手法としてコミュニティ・ビジネスの事例を紹介(区運営方針補足)	全地域を対象にコミュニティ回収について情報提供を行い、要望のあった地域には個別で説明を行った。(区運営方針補足)	コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの起業への着手 0件	()	○	・コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネスが地域課題の解決につながるという認識向上に向けての取組が必要である。(区運営方針補足)	・中間支援組織と連携し、必要とする地域ごとに説明を行う。(区運営方針補足)	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(都島区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成27年度												
				めざす成果および戦略												
項目		成果指標と目標値		計画			自己評価									
				めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向		
							ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す			A：順調 B：順調でない		a：順調 b：順調でない				
(4)	地域公共人材の充実と中間支援組織の活用															
	㊦	地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[2-1] 多様な主体が参画する地域活動協議会等の地域団体により、自律的な地域運営が行われ、その活動に若い世代など新しい担い手が参加するとともに、自主財源としてコミュニティ・ビジネスなどの取組みが進捗している状態。	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 29年度までに50%以上	・多様な主体が参画する、地域活動協議会の自律的な運営を支援する。 ・地域活動の担い手の拡大、情報発信などによる多様な主体のネットワークの拡充を支援する。 ・地域が自律的に活動するために、コミュニティビジネスなどによる自主財源の確保を支援する。 ・中間支援組織と連携して、地域の担い手人材の発掘をおこない地域へと引き継ぐ。	ア	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 16% 達成状況は順調でないが、中長期の継続的な取組が必要である。	19%	B	B	b	—	—	
	㊧	中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[2-1] 多様な主体が参画する地域活動協議会等の地域団体により、自律的な地域運営が行われ、その活動に若い世代など新しい担い手が参加するとともに、自主財源としてコミュニティ・ビジネスなどの取組みが進捗している状態。	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 29年度までに50%以上	・多様な主体が参画する、地域活動協議会の自律的な運営を支援する。 ・地域活動の担い手の拡大、情報発信などによる多様な主体のネットワークの拡充を支援する。 ・地域が自律的に活動するために、コミュニティビジネスなどによる自主財源の確保を支援する。 ・中間支援組織と連携して、地域の担い手人材の発掘をおこない地域へと引き継ぐ。	ア	地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合 16% 達成状況は順調でないが、中長期の継続的な取組が必要である。	19%	B	B	b	—	—	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(都島区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針					平成27年度										
					具体的取組										
項目		成果指標と目標値			計画					自己評価					
					取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策	
										：目標達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：目標未達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：撤退基準未達成		○：有効 ×：有効でないため見直す			
(4)		地域公共人材の充実と中間支援組織の活用													
	㊦	地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[2-1-2] 中間支援組織を活用して、活動内容の透明性を確保するとともに、地域課題の解決やつながりの拡充など、地域活動協議会の自律運営にかかる積極的支援を行う。 ・新たな担い手発掘につながる行事の企画・実施 3回以上 ・地域で開設したブログ・HP等を活用した活動内容(イベント案内・実施報告等)の発信：9地域	中間支援組織等による支援により、新たな担い手の参加が促進されたと感じる区民の割合 60%以上	割合が40%未満であれば、事業再構築	26年度実績 ・地域の共通ニーズに応じた各種講習会等の開催 ・新たな担い手拡大のためSNSを活用した情報発信支援 ・補助金の支出に関する透明性確保のための会計支援	新たな担い手発掘につながる行事の企画・実施 3回以上 世代間交流会「こどもとおとなのまちづくり」(10月) 企業交流会「つながろっ！ザ談会」(5月、8月) その他、桜宮高校ボランティア活動への支援(随時)など 地域で開設したブログ・HP等を活用した活動内容(イベント案内・実施報告等)の発信：7地域	中間支援組織等による支援により、新たな担い手の参加が促進されたと感じる区民の割合 47%(都島区まちづくりセンターに関するアンケート 59/126人)	()	○	・地域は新たな担い手の必要性は認識しているが、一方で、新しい取組の導入や、世代交代の難しさもあり、結果として、若い世代などの地域活動への参加や定着には至っていない。 ・ブログ・HP等を活用した情報発信には専門的スキルが必要と認識されている。	・新たな担い手を掘り起し、地域活動につなげやすい、小規模な行事を企画・実施する。 ・全地域での情報発信に向け、手軽さをアピールするなど、ブログ・HP等を活用した情報発信への理解を図る支援を行う。	
	㊧	中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[2-1-2] 中間支援組織を活用して、活動内容の透明性を確保するとともに、地域課題の解決やつながりの拡充など、地域活動協議会の自律運営にかかる積極的支援を行う。 ・新たな担い手発掘につながる行事の企画・実施 3回以上 ・地域で開設したブログ・HP等を活用した活動内容(イベント案内・実施報告等)の発信：9地域	中間支援組織等による支援により、新たな担い手の参加が促進されたと感じる区民の割合 60%以上	割合が40%未満であれば、事業再構築	26年度実績 ・地域の共通ニーズに応じた各種講習会等の開催 ・新たな担い手拡大のためSNSを活用した情報発信支援 ・補助金の支出に関する透明性確保のための会計支援	新たな担い手発掘につながる行事の企画・実施 3回以上 世代間交流会「こどもとおとなのまちづくり」(10月) 企業交流会「つながろっ！ザ談会」(5月、8月) その他、桜宮高校ボランティア活動への支援(随時)など ・地域で開設したブログ・HP等を活用した活動内容(イベント案内・実施報告等)の発信：7地域	中間支援組織等による支援により、新たな担い手の参加が促進されたと感じる区民の割合 47%(都島区まちづくりセンターに関するアンケート 59/126人)	()	○	・地域は新たな担い手の必要性は認識しているが、一方で、新しい取組の導入や、世代交代の難しさもあり、結果として、若い世代などの地域活動への参加や定着には至っていない。 ・ブログ・HP等を活用した情報発信には専門的スキルが必要と認識されている。	・新たな担い手を掘り起し、地域活動につなげやすい、小規模な行事を企画・実施する。 ・全地域での情報発信に向け、手軽さをアピールするなど、ブログ・HP等を活用した情報発信への理解を図る支援を行う。	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(都島区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成27年度												
				めざす成果および戦略												
項目		成果指標と目標値		計画			自己評価									
				めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向		
							A:有効であり、継続して推進 I:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない	a:順調 b:順調でない					
2	「自律した自治体型の区政運営」に向けて															
	(1)	区における住民主体の自治の実現														
	㊦	多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[4-1(抜粋)] 計画段階から区民との対話や協働により区政運営を推進するとともに、区民から区政運営についての評価を頂いている状態。	区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 29年度までに60%以上	・多様な意見やニーズを施策に反映するため、区政会議を開催し、区政運営について意見・評価を頂く。	ア	区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 29%	15%	B	A	b	・区政運営について、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合についての、アウトカム達成状況は本市平均より高い伸び率で推移しているが、依然として目標より低い水準にある。	・区政会議では専門部会を設置し、より集中的で掘り下げた議論を行う。	
区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合			H29年度までに60%以上	[4-1(抜粋)] 計画段階から区民との対話や協働により区政運営を推進するとともに、区民から区政運営についての評価を頂いている状態。	区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 29年度までに60%以上	・多様な意見やニーズを施策に反映するため、区政会議を開催し、区政運営について意見・評価を頂く。	ア	区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 29%	15%	B	A	b	・区政運営について、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合についての、アウトカム達成状況は本市平均より高い伸び率で推移しているが、依然として目標より低い水準にある。	・区政会議では専門部会を設置し、より集中的で掘り下げた議論を行う。		
区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合			H29年度までに60%以上	[4-1(抜粋)] タイムリーに分かりやすく情報を発信し、幅広い区民と双方向コミュニケーションが図られている状態。	区民アンケートで広報誌への満足度 23年度 58% 27年度 68%(10%増)	・広報誌、HP、SNSを活用しタイムリーな情報発信を行うことにより、すべての区民に行政サービスや地域活動などの情報をわかりやすく提供する。	ア	区民アンケートで広報誌への満足度 78%	79%	A	A	b	—	・広報誌は全戸配付に移行するなど、区政情報が確実に区民に届くよう、情報発信を強化する。		
	㊦	区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[4-1(抜粋)] 計画段階から区民との対話や協働により区政運営を推進するとともに、区民から区政運営についての評価を頂いている状態。	区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 29年度までに60%以上	・多様な意見やニーズを施策に反映するため、区政会議を開催し、区政運営について意見・評価を頂く。	ア	区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 29%	15%	B	A	b	・区政運営について、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合についての、アウトカム達成状況は本市平均より高い伸び率で推移しているが、依然として目標より低い水準にある。	・区政会議では専門部会を設置し、より集中的で掘り下げた議論を行う。	
			区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[4-1(抜粋)] 計画段階から区民との対話や協働により区政運営を推進するとともに、区民から区政運営についての評価を頂いている状態。	区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 29年度までに60%以上	・多様な意見やニーズを施策に反映するため、区政会議を開催し、区政運営について意見・評価を頂く。	ア	区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 29%	15%	B	A	b	・区政運営について、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合についての、アウトカム達成状況は本市平均より高い伸び率で推移しているが、依然として目標より低い水準にある。	・区政会議では専門部会を設置し、より集中的で掘り下げた議論を行う。	
	(2)	区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり														
	㊦	区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに80%以上	区役所が、区民から寄せられる日常生活に関する様々な相談や要望を総合的に受け付け、個々の事業に応じて関係局等への連絡や指示を適切に行うとともに、適切な機関や窓口を調べ、情報を共有したり、必要に応じて自ら問い合わせを行い、状況を相談者等にフィードバックしたりするなど、区における市政の総合窓口としての役割を果たしている状態。	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合 29年度までに80%以上	・区役所が、区民が抱える様々な課題に対して、その内容に応じて関係局と連携して、責任をもって対応するなど、インターフェイス機能を拡充させ区民に身近な総合行政の拠点として区民から信頼されるようにする。	ア	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合 71%	73%	A	A	a	・「市民の声」対応日数の短縮化など、関係機関と連携して広聴機能の強化に努めてきたが、一層、多様化する区民ニーズへの対応が必要である。 (区運営方針補足)	・行政書士相談のナイター・日曜実施など、各種相談を強化するとともに、行政連絡調整会議構成団体との連携を一層強化し、身近な総合行政の拠点としての機能向上に努める。 (区運営方針補足)	
	(3)	区民が満足・納得できる区役所運営														
	㊦	庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合	H29年度までに80%以上	[4-2] 不祥事案が発生せず、区民からサービスに関して常に高い評価を受けており、さらに職員のやりがい・連携が向上し、職場が活性化している状態。	職員を対象にしたコンプライアンスに関するアンケートで、業務で常にコンプライアンスを意識していると回答した職員の割合 23年度46% → 27年度76%(30%増)	・効果的な研修を重ねることによりコンプライアンス意識の徹底を図る。 ・ソフト・ハード両面で区民サービスを向上し、区民から信頼される利便性の高い区役所づくりを行う。 ・人材育成基本方針にもとづき、スキルアップのための研修や社会貢献活動の参加促進などを強化し、前向きで主体的・チャレンジ意識を持った職員を育成する。	ア	27年度 1つ (格付け評価点は26年度 3.1 → 27年度 3.4)	1つ	A	A	b	・評価は上昇しているが、目標達成には、区民が実感する一層のサービス向上が必要である。 (区運営方針補足)	・お客様アンケートをはじめ、区民からの客観的な評価を接遇研修に効果的に活かし、職員のスキルアップ向上を図る。 (区運営方針補足)	
		区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	H29年度までに60%以上	区役所の業務が効果的・効率的に運営されるような様々な取組が進められており、区民がそのことを知っている状態。	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合 29年度までに60%以上	・区役所業務の運営について、業務プロセスの改善・事務の集約化などにより、効果的・効率的なものとしていくとともに、区民にそのことを伝えていく。	ア	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合 24%	—	B	B	b	・アウトカムの達成状況は順調でないが、中長期的取組が必要である。	・若手職員が中心となり、業務プロセスの改善などに取り組んでいるが、アウトカムの達成に繋がっていないため、区民への情報発信にも取り組む。	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(都島区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針				平成27年度										
				具体的取組										
項目		成果指標と目標値		計画				自己評価						
				取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策	
									：目標達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：目標未達成（ ）取組は予定どおり実施（ ）取組を予定どおり実施しなかった ：撤退基準未達成		○：有効 ×：有効でないため見直す			
2	「自律した自治体型の区政運営」に向けて													
	(1)	区における住民主体の自治の実現												
	㊦	多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[4-1-1] 区政会議を開催し、区政運営、テーマごとの地域課題について意見・評価を頂く。 ・全体会議 3回程度 ・専門部会 適宜	区政会議の委員アンケートで、意見が区政に生かされていると感じている委員の割合 80%以上	割合が50%未満であれば、運営方法を再構築	26年度実績 ・全体会議 3回	全体会議 3回(6月・10月・3月) 専門部会 4回(12月・3月×2部会)	区政会議の委員アンケートで意見が区政に生かされていると感じている委員の割合 40%		×	・任期最後の会議で、各委員からふりかえりとして会議運営へのご意見・評価を頂いた。テーマを絞った、集中的な議論が必要との意見も頂いた。	・委員から頂いたご意見なども踏まえ、より掘り下げた議論が出来るよう、10月から新たに福祉と教育の専門部会を設置した。
区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合			H29年度までに60%以上	[4-1-1] 区政会議を開催し、区政運営、テーマごとの地域課題について意見・評価を頂く。 ・全体会議 3回程度 ・専門部会 適宜	区政会議の委員アンケートで、意見が区政に生かされていると感じている委員の割合 80%以上	割合が50%未満であれば、運営方法を再構築	26年度実績 ・全体会議 3回	全体会議 3回(6月・10月・3月) 専門部会 4回(12月・3月×2部会)	区政会議の委員アンケートで意見が区政に生かされていると感じている委員の割合 40%		×	・任期最後の会議で、各委員からふりかえりとして会議運営へのご意見・評価を頂いた。テーマを絞った、集中的な議論が必要との意見も頂いた。	・委員から頂いたご意見なども踏まえ、より掘り下げた議論が出来るよう、10月から新たに福祉と教育の専門部会を設置した。	
区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合			H29年度までに60%以上	[4-1-2] タイムリーにわかりやすく情報発信を行うとともに、SNSを活用し、若い世代など幅広い区民との双方向コミュニケーションを図る。 ・広報誌毎月発行(24ページ建て) ・情報発信企画委員会 月1回	区民アンケートで、広報誌・ホームページに関する区民の満足度平均値70%以上(23年度 58%) フェイスブックへの 新規「いいね！」数200以上 記事がシェアされる数(再シェアを含む) 250以上	目標の満足度平均値が50%未満であれば、事業再構築	25年度実績 ・広報誌リニューアル・区トップページリニューアル 26年度実績 ・フェイスブックの「いいね！」数(H26.3末:614 H26.8末:706) ・広報誌毎月発行(24ページ建て) ・情報発信企画委員会:8回(H27.1月末) ・情報発信研修 1回(8月)	広報誌毎月発行(24ページ建て) 情報発信企画委員会 1回	区民アンケートで広報誌・ホームページに関する満足度平均値 68% フェイスブックへの新規「いいね！」数190 シェア数(再シェア含む) 485	()	○	・若い世代など幅広い区民との双方向コミュニケーションを図るためには、広報誌、ホームページ・SNS等を効果的に組み合わせるメディアミックスをさらに進める必要がある。 ・区民アンケートでは、広報誌を「見ないのでわからない」が30%、ホームページを「見ないのでわからない」が61%あった。	・ターゲットに応じた媒体を活用するなど、効果的な広報を実施する。 ・新聞購読者数の減に対応して、28年度から、広報誌を新聞折込から全戸配付に変更する。	
	㊧	区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[4-1-1] 区政会議を開催し、区政運営、テーマごとの地域課題について意見・評価を頂く。 ・全体会議 3回程度 ・専門部会 適宜	区政会議の委員アンケートで、意見が区政に生かされていると感じている委員の割合 80%以上	割合が50%未満であれば、運営方法を再構築	26年度実績 ・全体会議 3回	全体会議 3回(6月・10月・3月) 専門部会 4回(12月・3月×2部会)	区政会議の委員アンケートで意見が区政に生かされていると感じている委員の割合 40%		×	・任期最後の会議で、各委員からふりかえりとして会議運営へのご意見・評価を頂いた。テーマを絞った、集中的な議論が必要との意見も頂いた。	・委員から頂いたご意見なども踏まえ、より掘り下げた議論が出来るよう、10月から新たに福祉と教育の専門部会を設置した。
区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合			H29年度までに60%以上	[4-1-1] 区政会議を開催し、区政運営、テーマごとの地域課題について意見・評価を頂く。 ・全体会議 3回程度 ・専門部会 適宜	区政会議の委員アンケートで、意見が区政に生かされていると感じている委員の割合 80%以上	割合が50%未満であれば、運営方法を再構築	26年度実績 ・全体会議 3回	全体会議 3回(6月・10月・3月) 専門部会 4回(12月・3月×2部会)	区政会議の委員アンケートで意見が区政に生かされていると感じている委員の割合 40%		×	・任期最後の会議で、各委員からふりかえりとして会議運営へのご意見・評価を頂いた。テーマを絞った、集中的な議論が必要との意見も頂いた。	・委員から頂いたご意見なども踏まえ、より掘り下げた議論が出来るよう、10月から新たに福祉と教育の専門部会を設置した。	
(2)	区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり													
	㊦	区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに80%以上	区民から寄せられる相談や要望を受け付け、関係局等への連絡や指示を行う ・広聴・各種相談事業の実施 ・行政連絡調整会議等の開催 15回	市民の声への平均回答日数が、12日以上であれば、事業再構築	26年度実績 ・広聴・各種相談事業の実施 ・行政連絡調整会議等の開催 19回	・広聴・各種相談事業の実施 通年 ・行政連絡調整会議等の開催 15回	市民の声への平均回答日数 10.2日(4位/50所属)	()	○	—	—	
(3)	区民が満足・納得できる区役所運営													
	㊦	庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数	H29年度までに80%以上 H29年度までに3.5点以上	[4-2-2] 職員の接遇スキルアップの向上を図る。 ・外部講師による接遇研修の実施 1回	区役所来庁者サービスの格付け評価点 3.3	評価点が3.1未満であれば、事業再構築	25年度実績 ・区役所来庁者サービスの格付け評価点 3.1 26年度実績 ・外部講師による接遇研修 1回(12月)	外部講師による接遇研修 1回(2～3月) (28年1月実施のお客様アンケート結果を研修内容に反映)	()	○	—	—	
	㊧	区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	H29年度までに60%以上	若手職員が中心となり、業務プロセスの改善などに取り組む。 ・職場改善チームの活動ほか	・職場改善チームの活動 業務改善	・職場改善チームによる業務改善事例が無ければ事業再構築	26年度実績 ・職場改善チームの活動 ミーティング10回 業務改善事例(ノンストップ窓口の試行など5件)	・職場改善チームの活動 ミーティング8回	・職場改善チームによる業務改善事例(庁舎案内表示の見直しなど4件)	()	○	—	—